

令和6年度 第1回 松田町地域公共交通会議 議事録

日 時 令和6年5月28日(火) 14:00~16:10

場 所 松田町役場4階4AB会議室

出席者 構成員：古館会長、山崎副会長、安藤委員、松島委員、山岸委員、澁谷委員、北村委員、鈴木克治委員、吉田委員、工藤委員、陶山委員、橘川委員、畑野委員(監事)、尾登委員、田中委員(代理：小澤氏)、宿谷委員(代理：鈴木氏)、中津川委員(代理：中川氏)、浅野委員(代理：山崎氏)、遠藤克也委員(代理：辻本氏)、田代委員、早野委員(監事)、宮根委員、遠藤洋一委員、柳澤委員、椎野委員、鈴木英幸委員

欠席者：飯田委員、井澤委員、松本委員、芹澤委員、小澤委員、森下委員、鎌田委員

事務局：政策推進課

鍵和田 龍太、鎌田 拓哉、鍵和田 幸義

市川 和男(まちづくりコーディネーター)

一般社団法人 ASHIGARA ON DEMAND 蛭海 友貴

オブザーバー：

足柄広域新モビリティサービス推進協議会副会長 梶田 佳孝

大井町企画財政課長 湯川 博之(代理 廣川氏)

【議事次第】

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員紹介
- 4 副町長あいさつ
- 5 会長あいさつ
- 6 議事
 - (1) 令和5年度事業報告及び決算(案)について
 - (2) 松田町地域公共交通会議設置要綱の改正について
 - (3) 地域間幹線及びフィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について
 - (4) 松田町A I オンデマンド交通実証実験の運行計画の見直しについて
 - (5) その他
- 7 閉会

【会議概要】

1 開会

- ・事務局より開会のあいさつ。

2 委嘱状交付

- ・交代等があった委員に対して委嘱状を交付した。

3 委員紹介

- ・各委員からあいさつをいただいた。

4 副町長あいさつ

- ・令和4年度から令和5年度の2年間をかけて皆さまに協議をいただき、松田町地域公共交通計画を策定することができた。
- ・計画に基づき、路線バス等の維持に向け、補助金等の活用を行っていく。
- ・AI オンデマンド交通の運行計画の変更について議題としているので、忌憚のない意見をいただきたい。

5 会長あいさつ

- ・本日は、令和6年度の第1回の会議となる。議題のなかでは、AI オンデマンド交通実証実験の運行計画の変更がメインの議題となると思うので、皆さまからの意見をいただきたい。

6 議事

○会長

本日の出席状況について報告をお願いいたします。

●事務局

委員32名のうち26名は出席しており、会議が成立していることを事務局より報告。また、傍聴者が2名いることを報告。

※欠席者7名については委任状の提出あり。

(1) 令和5年度事業報告及び決算(案)について

●事務局

- ・事務局より、資料1-1の説明。
- ・畑野委員(監事)より、資料1-2により監査結果の報告。

○会長

- ・ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

・ご意見ないようですので、案を取り、本件は承認といたします。

(2) 松田町地域公共交通会議設置要綱の改正について

●事務局

・事務局より、資料2の説明。

○会長

・ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。
・ご意見ないようでしたら、この議題は報告事項ですので終わりたいと思います。

(3) 地域間幹線及びフィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について

●事務局

・事務局より、資料3、資料4-1～資料4-3の説明。

○会長

・ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

○委員

・事前に確認させていただいており、必要な修正はなされていたので特に書類上の記載は問題ないと思う。
・計画運行回数について、現状の回数で事業期間中は運行予定という理解でよいか。

○委員

・変更予定はない。

○会長

・他に意見ないようですので、本件は承認とし手続きを進めていきたいと思います。

(4) 松田町A I オンデマンド交通実証実験の運行計画の見直しについて

●事務局

・事務局及び一般社団法人足柄オンデマンドより、資料5の説明。

○会長

・ただいまの説明について、何かご意見ご質問等がありましたら、お願いします。
・大きく分けて議論のポイントが4つあります。運賃について、運行台数について、運行日について（日曜日が運休になる）、運行時間の短縮についての改定案が出ている。順に議論したい。まずは、運賃についていかがか。
・ホームページにて当初提示された案から意見募集や説明会での意見を踏まえて修正がされていると認識している。ホームページ等で行われた意見募集や説明会の結果も確認いただき意見をいただきたい。

○委員

・車の台数を減らす、運行時間を短縮するといったサービスの縮小を行い、料金を上げる

というのは企業として良くないパターンだと思う。社内の状況をよく見つめ直してもらいたい。予約が取れないという話をよく聞く。それだけ需要が多いのになぜ売り上げが伸びないのか。企業努力も重要と思う。

●足柄オンデマンド

- ・職員の見直しを行い、3、4人の削減を行い常勤のスタッフは2人体制となっている。また、運行委託費についても各交通事業者と協議の上、昨年度の半分程度に削減している。

○会長

- ・別紙②、別紙③を見比べると、かなりの経費削減がされていることは確認できる。

○委員

- ・予約に関して、電話の場合には料金が加算される計画だが、なぜか。

●足柄オンデマンド

- ・一律で100円加算させていただく案を提示している。電話対応の人員が必要となり経費がかかることが理由である。アプリ等の利用を促していきたい。

○委員

- ・高齢者はスマートフォンの利用は難しいと思うが。

●足柄オンデマンド

- ・パスポートを購入された方は、電話予約時の加算は想定していないので、そちらの利用を促したい。
- ・これまで、パスポートの料金を15回分の運賃としていたが、今回の案は大人7,200円と8回又は9回分の運賃の額に設定している。できるだけ定額制の利用を増やしていきたいと考えている。

○会長

- ・別紙5では電話予約の場合の加算について書いていないが、当初ホームページ等で提示していた案とどちらか。

●足柄オンデマンド

- ・別紙5に記載が漏れていたが、電話予約の場合は100円加算とさせていただきたい。

○委員

- ・商工部の視点から見ると、本事業はとても良いものだと思っている。買い物弱者対策として理にかなっていると思う。今までの運賃は安すぎると思っていた。個人的には別紙5案②のほうが良いかと思う。町民のなかで差がないほうが良いと思う。様々な経費が上がってきているなかで、本会議で上手く協議をまとめないと、本事業が無くなってしまわないかと思う。800円にしたとして今後足りるのか。毎年値上げ、値上げだと信用

を失ってしまうおそれがあると危惧する。

●足柄オンデマンド

- ・我々がサービスを提供するから皆さんに乗ってください、という考えではなく、町民の皆さんと一緒に事業を作っていくという想定のもと本事業が立ち上がった。当初の想定の数の利用があれば、この運賃で運行していけるという試算だったが、令和5年度で見ると収支率は3%である。それでは立ち行かないというところで運賃改定を提案している。利用者数によっては、今後逆に値下げするという事も考えられる。

○委員

- ・予約が取りにくいという状況は改善を図り、適切なサービス提供をしたうえで運賃を値上げするべきではないかと考える。
- ・開成町や山北町へ運行エリアを拡充するのは難しいか。

●足柄オンデマンド

- ・開成町については、6月から開成町と具体的な協議に入る予定で、10月ごろを目安に開成町への運行エリアの拡充を考えている。

●事務局

- ・先日、山北町の議員の方がのーと足柄の視察に来られた。山北町の今後の交通施策を考えるなかで本事業に興味があるとのことだった。山北町に限らず、南足柄市や現在運行している大井町、開成町含め、広域で協議する場も今後考えていきたい。そのなかで、山北町としてこのような事業を実施して連携して運行するという形なども考えられるので、今後協議を進めていきたい。

○委員

- ・開成町に区域を拡大することについて、収支面ではどうなのか。

●足柄オンデマンド

- ・開成町の全域を運行エリアにするわけではなく、スーパーマーケット等の買い物施設など開成町の南側をメインに考えている。また、運行台数を3台にする案を提示しているが、開成町に拡充するにあたって、利用状況も見ながら4台に戻すことも検討していく。

○会長

- ・開成町全域をカバーするわけではなく、限定的なエリアであり、その場合には採算が悪化するようなことは想定していないということですね。

●足柄オンデマンド

- ・そのとおりです。

○委員

- ・運賃が2案提示されており、私は別紙5案②が現実的かと思っている。開成町にエリアを拡充するときには800円になるが、需要があるか考えるか。鉄道や場所によっては

タクシーと同じくらいでは。

●事務局

- ・鉄道、バス、タクシーとそれぞれの役割を果たしていただいているなかで、それを補完するサービスとして本事業を位置付けている。
- ・箱根登山バスとの協議において、バス停近くへの設置は避けてもらいたいと意見をいただいている。バス停とオンデマンド交通の乗降場所は開成町とも協議し、設定していきたい。

○委員

- ・運賃値上げについて、今後の見込みについて、別紙⑧の③に将来的な利用者数の見込みが記載されている。今後パスポートの利用を拡大していくことで達成できる見込みであると考えているということか。

●足柄オンデマンド

- ・安定的な収入を確保していくためにも、パスポートに力を入れていきたい。

○委員

- ・運行時間を考えると、かなり過密な運行をしないとこれだけの人数を運べないとも思うが、現実性はどうか。

●足柄オンデマンド

- ・のり一との仕組みで、乗合い時間が設定されており、当初は12.5分だった。2月から20分に伸ばして運行している。その結果、乗合率が上がってきている。一日1台あたり60～80人に乗ってもらえると損益分岐点を超えられると考えているが、のり一と足柄は現在30人程度となっている。ただ、2～3平方キロメートルで運行した場合、それくらいの乗車人数で収支が取れるということで、松田町はそれよりもかなり広い区域で運行しており、一日1台あたりで80人を運ぶのは難しいと考えている。そうしたなかで、乗合い時間の調整や車両ごとに運行区域を分けるなどの工夫を実施し、まずは45～50人／台を目指している。

○委員

- ・それでは、それらの工夫で乗車人数を増やしていき、運行ルートの調整などをしていくという認識で良いか。

●足柄オンデマンド

- ・そのとおり。

●事務局

- ・本事業に関して、一般社団法人足柄オンデマンドが申請にて、国交省の補助事業に申請し採択いただいた。定額制についてどういった方法が適切か検討を進めていくので、今後報告したい。

○会長

- ・運賃改定案について2案でているが、別紙5案②が良いのではという意見が出ている。案①のほうが良いという方はいるか。

○委員

- ・行政の立場からいうと町民の方は平等にという考えがあるので、町内は一律料金が望まれると考える。

○会長

- ・運賃改定については、本会議としては別紙5案②が望ましいということ意見を意見としてまとめ、運賃等協議会にて協議いただくこととしたい。

○会長

- ・運行台数について、どういった背景で減らすという案が出ているか改めて説明を。

●足柄オンデマンド

- ・4台から3台にするというのは、1台あたり何人を運べるかを基準に考えたときに、現在の利用状況を踏まえると、1台あたりの利用人数が飽和しているわけではないと考えている。何度か車検等で2台、3台での運行となったことがあったがそのことによる大きな影響はなかったことから、3台という案を提案している。

○委員

- ・車両自体は4台あって、運行するのが3台ということだと思うが、朝7時台に寄に3台上がってきているのを見たことがあり、それは乗合いにできないものなのか。

●足柄オンデマンド

- ・始めた当初は、乗合い時間が12.5分であり、それがネックで乗合いが進まなかった。それを20分にして現在運行している。朝7～8時について、1台を定時路線のような形で、寄内の何点かのポイントを回りながら乗合ってもらおうという運行を考えている。

○委員

- ・当初の設定は良くなかったということか。

●足柄オンデマンド

- ・運行開始後の11月～1月の運行実績を見ながら少しずつ調整をしてきた。

○委員

- ・バスが3台も寄に上がってきていたとの話だが、それによって予約が取りにくいといったことがあったのか。

●足柄オンデマンド

- ・1台1台の動きを全て確認しての判断ではないが、時間ごとに細かな運行区域の設定が車両ごとにできるので、細かな調整をしながら最適な運行のあり方を探っていきたい。

○委員

- ・日曜の運行と運行時間について、寄の住民としては今までどおり残してもらいたい。例えば、朝晩に関して言えば、早朝料金、深夜料金など追加料金を設定するなどしてでも、運行を継続することを検討いただきたい。

○会長

- ・資料では、朝晩の1時間はトライアルで実施して、目標に達しない場合には見直しをしたいとのことだと思う。今の意見は、追加の料金を取ってでも維持できないかということかと思うがいかがか。

●足柄オンデマンド

- ・まずは、この運行をしてみてどれくらいの方に乗ってもらえるかを確認したいと考えていた。そのうえで、廃止にするのか、ご意見のように追加料金をいただくのか、実績をみて判断したいと考えている。

○委員

- ・必要な方はそれでも使うと思うので検討ください。また、寄内は定時で回って客を乗せた方が、効率が上がるのではないか。

○委員

- ・本事業は路線バスを補完する事業として開始している。そのなかで、富士急モビリティの路線バスが運行を終えた20時以降に、定時便として運行するのは可能か。

●足柄オンデマンド

- ・案で示している朝晩1時間の運行は、意見のように定時路線のような運行を考えている。

○委員

- ・8～20時の運行というのは20時に車庫に戻るということか。

●足柄オンデマンド

- ・車庫に戻る時間ということである。

○委員

- ・寄への往復を考えると駅を19時に出ないと20時に車庫に戻れない、ということは終バスの19:15よりも早いくらいなので、補完するサービスと言えるのか。
- ・現在、各車両は1人の運転手が運転しているのか。シフトの工夫で夜の運行を行うなど考えられると思うが検討されたのか。

●足柄オンデマンド

- ・今回示しているシフトの案は、ピーク時間である9～10時と15時～17時までに車両3台を配車できるように考えて設定している。利用の状態を見ると、夜の時間の利用が

圧倒的に少ないので、多くのご利用のある時間をカバーできるようにという考えでシフト案を作成している。

○委員

- ・富士急バスが減便して通勤ができなくなったから、車通勤にしたという方もいる。なので、利用者が増えないというのがあると思う。以前富士急の路線バスが夜まであったころ、特に金曜日の夜は多くの利用があった。徐々に減便されていく中でバスから車利用に変わっていった。路線バスの最終が新松田 19:15 発なので、のり一とは 20:00 ないしは 20:30 に新松田を出るといった考えはできないか。

●足柄オンデマンド

- ・シフトを 1 時間前後することで終わりの時間をずらすことはできるので、各社協議したうえで検討したい。

○委員

- ・日曜の運行と、朝晩の運行はぜひお願いしたいと思う。定期的な運行、料金設定を含めて検討いただきたい。

○会長

- ・料金と台数については、何とかやっていただくということで了解して、日曜の運行、運行時間について再度検討ということによろしいか。

●事務局

- ・意見を踏まえて検討を進めるが、次回の会議は開成町へのエリアの拡充をメインの議題として、今回の協議事項はその前に整理したいと考えている。会長一任としていただくか、改めて書面で協議させていただくといったやり方も考えられるがいかがか。

○会長

- ・本会議で出た意見を踏まえて、私に一任いただき、事務局他と協議させていただき、皆さまに報告するということがよろしいでしょうか。
- ・よろしければ、その形で話を進めたいと思います。

(5) その他

○会長

- ・大井町、開成町など広域にまたがる話が今回あって、本会議だけでは判断が難しい部分もあるが、そのあたりは今後どのように考えていくべきか。

○委員

- ・関東管内では広域の協議会はあまり事例がないが、原則としては双方の協議会ないしは全体としての協議会を設立するなどして、両町の合意が会議体としてなされる必要がある。事例があれば、共有したい。

○委員

- ・ A I オンデマンド交通実証実験の運行計画の見直しについての今後のスケジュールは。

●足柄オンデマンド

- ・ 運賃が決定したら、運賃等の設定について所要のシステム改修を行った後となるので、10 月前後になると考えている。変更前には周知を十分に行いたい。

7. 閉会

- ・ 副会長より閉会のあいさつ

○副会長

- ・ お金に関わることなので、判断の難しい問題もあると思うが住民の役に立つために引き続きよろしく願いいたします。
- ・ このところ自治会に入らない方が増えてきている。私も以前はあまり感じなかったが、今は松田町に住まわせてもらっているだけで幸せと考えるようになってきた。オンデマンド交通の関係も、利用していただいているという立場も改めて考えてもらえると、状況も変わってくるのではないかと思う。

以 上